

# 中川市長、議会の辞職要求を拒否

市議会全員協議会が8月28日、行われました。議題は渇水対策と市長の失言に伴う対応でした。このうち後者について市長は冒頭、三田市の米をめぐる発言について改めて謝罪し、「猛省している」とのべましたが、先月14日に市議会が辞職を求めたことについては、受け入れず、「残された任期の職務を全うし、次の選挙で市民の審判を仰ぎたい」とのべました。

これに対して議員からは、「すでに14回も不適切な発言をしてきた。議会の申入れを重く受け止めていないのではないか」「夏のイベントに出ても陳謝の言葉がなく、ニコニコして挨拶されていた。本当に反省しているのか」「三田市への謝罪はいつまで続くのか」などと厳しい意見が相次ぎました。

私も「市長は猛省している、任期はまっとうしたい、次の選挙には出ると言われたが、これまでの失言は辞職に値しないという判断をしたのか」と追及しました。市長は「いままでの発言が辞職に値しないという考えは持っていない」とのべたものの、任期を全うしていくことにこだわりました。私立高校と公立高校をめぐる発言にせよ、三田市のコメ発言にせよ、これらの失言は辞職に値しないと思っているから辞めないのです。

どうあれ、市議会から「市長は辞職すべきだ」と投げられたボールは「辞職しない」という言葉で返ってきました。私は議長に各派代表者会議を早急に開催するよう求めました。

## 市長不信任決議案を提案へ

ところが議長はその後、各派代表者会議を開かず、「辞職しない、続投する」という市長発言について見解表明もしていません。これでは話になりません。日本共産党上越市議団は1日、9月議会の最終日に市長の不信任決議案を提出することを決めました。提出にあたっては、できるだけ他会派と共同していくことにしています。



## 柿崎区で市の総合防災訓練

上越市の総合防災訓練が8月30日、柿崎区で行われました。今回の訓練は、自然災害（地震、津波、土砂崩れなど）と原子力災害が発生したという想定のもと、避難訓練などが行われました。

私は市が用意したマイクロバスに乗って、下黒川小学校、黒川地区公民館に移動し、情報伝達訓練、住民避難訓練、安定ヨウ素剤の配布などの訓練を見せられました。その後、柿崎区総合事務所前広場に戻り、高層建物からの要救助者救出訓練などを見せられました。猛烈に暑い中、みなさん、頑張っって訓練に参加されました。

今回の訓練は市民の命と安全を守るためには極めて重要な取組ですが、今後、成果と課題をはっきりさせていきたいと思ひます。右のイラストは安定ヨウ素剤配布訓練と炊き出し訓練の様子です。



【オトコエシ】（再掲）オミナエシ科の多年草。漢字で「男 郎花」と書きます。オミナエシ（女郎花）は子どもの頃から知っていたのですが、オトコエシがあることを知ったのは大人になってからです。花期は8月から10月、小さな白い花をたくさん咲かせます。花言葉は「野性味」「慎重」「賢明」など。写真は3日午後、吉川区代石地内の市道脇に咲いているところを撮影しました。



福井県鯖江市からやってきたコウノトリを頸城区矢住で見かけました。この鳥は同市生まれの2歳のメスで、初めて見ました。個体番号はJ0682です。



3日の集中豪雨は上越市内各地で被害をもたらしました。写真は吉川区長坂付近でかん水した田んぼと県道。

## はしづめ法一の活動レポート

No.2218 2025.9.7

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八六五回 目が弱くなっても

先日の夕方、時間は五時少し前だったでしょうが、吉川区後生寺の叔父（故人）の家の解体状況を見てから、入連坊を通過してフミエさんの家に行きました。

訪ねたのはフミエさんの元気な姿を確認したいということもありましたが、山間部に住んでいたHさんの情報を教えてもらいたいと思っていたからです。

玄関前まで行ったとき、ひよっとしたら留守かと思いました。というのも、物音ひとつしない静けさがあったからです。でも戸は開きました。

「じゅんぐだわーい、橋爪です」と声をかけてから、私の目に入ったのは「ゴミ一つ落ちていない建物の中です。」「きれいだな」と思いました。ですから、フミエさんが出て来られたとき、私はすぐに「きれいにしておきなねえ」と言いました。フミエさんは「デイサービスに行くにはきれいにしておかないとね」と言われたのですが、誰が来られても気持ちよくしてもらいたい、そう思っているのだと思います。

少しおしゃべりした後、「Hさん、その後どうしなつたかいね。施設に入んなつたと聞いていたんだけど……」とフミエさんに訊（き）きました。すると、「あら、もう亡くなつたでね」と言葉が返ってきたのでびっくりしました。信じられなかつたので、「新聞に載らなかつたんかいね」と言うので、「いいえ、載りました」。私が見逃がしていたのです。亡くなつたのは冬の二月ごろだとのことでした。

フミエさんは、「今年が初盆ですが、家の人たち、おうちの前、通りなつたがねかな」と言われました。まだ、Hさんが住んでいた家が残っていますし、お墓もそのままだとすれば、その通りだと思えます。

Hさんはフミエさんと大の仲良しで、生前は、フミエさんの家のそばを通ると、「何か用事ないかね」と言っていてフミエさん

に声をかけていた人でした。そのことを私もよく知っていました。

それにしてもショックでした。まさか、Hさんが亡くなつていたとは……。Hさんと最後にお会いしたのは二年ほど前です。声をかけると、「あら、おまさんかね」と言われた時の笑顔が忘れられません。

フミエさんはHさんよりも四つ年上、たしか九六歳だったと思います。高齢ですが子どもさんたちも心配されているのだと思います。フミエさんは、「毎月一回は子どもが来てくれるんです。冬の一月から三月は危ないすけ来ないけどね」と言っていてニコニコしていました。

そのフミエさんも最近、目が不自由になつてきたとのことでした。それでも毎日の新聞を読んでおられるということを知り驚きました。私の母の場合、フミエさんの年齢のときにはほとんど文字を読めなくなっていました。

フミエさんと話をしているうちに、私が出しているチラシを商業新聞よりも先に読んでおられるという話でした。フミエさんは、「橋爪さんのチラシは新聞よりも文字が大きいから読めるがです。いま、左目が弱くなつてしまつたすけ、右目で読んでいます」と身振り手振りをしながら言われました。文字の大きさは読みやすさにつながりますが、目が不自由になつても私の文章を一生懸命読んでくださるといふことを聞いて胸がいっぱいになりました。

フミエさんは、「この間、デイサービスで初めて石谷まで行ったがです。その時、橋爪さんはここまで来てなるがだなと思つた」と言われました。川谷の運動会の記事を読んでおられたからその言葉だと思えます。おそらく、チラシの隅々まで読んでくださるのでしよう。もう感謝しかありません。

## お寺でらくご

吉川区山直海の専徳寺（おが家は檀家）で30日、落語口演会が行われました。

口演したのは立川志らく門下の立川しらびーさんです。演目は「金明竹」（きんめいちく）と「試し酒」の二つ、そのうち「金明竹（きんめいちく）」という与太郎話は覚えるだけでも大変な演目ですが、矢継ぎ早の口上は見事でした。「試し酒」では喉を鳴らしながらぐくぐくと酒を飲む仕草があまりにもリアルでびっくりでした。



志らくさんには、「落語は音楽と同じで、リズムとメロディが大事だ」とおっしゃっていましたが、確かにそういうところがありますね。素敵な口演会でした。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月27日(水)	9月3日(水)
上越消防署	0.050	0.057
上越南消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.050	0.060
名立分遣所	0.057	0.067
高士分遣所	0.053	0.050

### ライオン像のある館で作品展



直江津はライオン像のある館で開催中の作品展を観てきました。

沖田渉さん、宇賀田真佐臣さん、宮崎俊英さんなど地元の作家さんの個性豊かなアートが展示されていました。イラストは宇賀田さんの梁め物です。